

平成28年度 実践報告書

◎ 平成28年度の取組（視察・研修・国際理解・講座等）

[illegible]

◎ 平成28年度の取り組み（視察・研修・国際理解・講座等）



岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 第1回連絡協議会 平成28年4月16日

1 会長あいさつ（岩倉市教育委員会 教育長）

日本語・ポルトガル語適応指導教室の報告書を見て、本当にすごい活動をしていると感じた。他県からの視察、テレビや新聞社の取材、また、他のところへ出向いて行っている発表などを見ると、改めて日本語・ポルトガル語適応指導教室のすごさを感じる。この教室は今年で16年目になるが、村瀬室長とみなさんで作り上げてきた成果だと思う。今年も17名で日本語・ポルトガル語適応指導教室の運営をしていくわけだが、これからが本当に大変だと感じている。今、全国的にも注目されていて、岩倉を見習え、勉強しよう、という団体がある。岩倉市自身もこれを維持していくのは大変である。改めて、先生方一人一人がそれをどうつないでいくか。何をしたらよいかと問い直ししながら、やっていくことが大切であろう。教育委員会もそうだが、今日の連絡協議会は、岩倉日本語・ポルトガル語適応指導教室を市を挙げて、学校を挙げて応援していこうという意味もある。連携を取りながら、岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室がさらにいい状態をつないでいけるようお願いしたい。



2 自己紹介

① 教育委員会

- ・ 教育委員会 部長
- ・ 教育委員会 課長
- ・ 教育委員会 グループ長
- ・ 教育委員会 管理指導主事

② 校長会長・事務局校校長

- ・ 岩倉市校長会会長 五条川小学校 校長
- ・ 事務局校 岩倉南小学校 校長

③ センター校 校長

- ・ 小学校センター校 岩倉東小学校 校長
- ・ 中学校センター校 南部中学校 校長

担当者在籍校 校長

- ・ 担当者在籍校 岩倉中学校 校長
- ・ 担当者在籍校 岩倉北小学校 校長
- ・ 担当者在籍校 曾野小学校 校長

④ 教務主任

- ・ 五条川小学校 教務主任
- ・ 岩倉南小学校 教務主任
- ・ 岩倉東小学校 教務主任
- ・ 南部中学校 教務主任
- ・ 岩倉中学校 教務主任
- ・ 岩倉北小学校 教務主任
- ・ 曾野小学校 教務主任

⑤ 養護教諭代表

- ・ 小学校センター校 岩倉東小学校 養護教諭
- ・ 中学校センター校 南部中学校 養護教諭



⑥ 日本語担当 紹介

・ 室長（事務局）	岩倉南小学校在籍	【16年目】	◆
・ 副室長	南部中学校在籍	【5年目】	◆
・ 主任	岩倉東小学校在籍	【4年目】	
・ 副主任	南部中学校在籍	【4年目】	◆★
・ 小学校代表	五条川小学校在籍	【3年目】	
・ 中学校代表	岩倉中学校在籍	【3年目】	◆★
・ 岩倉南小学校在籍		【4年目】	
・ 曾野小学校在籍		【2年目】	◆★
・ 岩倉東小学校在籍		【1年目】	
・ 岩倉東小学校在籍		【1年目】	
・ 岩倉東小学校在籍		【1年目】	
・ 岩倉北小学校在籍		【1年目】	
・ 岩倉中学校在籍		【1年目】	◆★
・ 南部中学校在籍		【1年目】	
・ 南部中学校在籍		【3年目】	◆★

◆ 海外生活経験者－7名， ★ 日本語教育専攻者－5名



⑦ ブラジル人講師 紹介

・ ポルトガル語講師	オテロフェルナンダ	【5年目】
・ 学校生活適応指導	平野美幸	【6年目】

3 日本語・ポルトガル語適応指導教室より

(1) 諸連絡および配布物

① 連絡協議会組織図

- ・ 今年度より，小学校代表，中学校代表を配置した。

② 平成27年度 実践報告書（新規メンバーのみ）

※ 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室として，現職教育を実施する。

③ 在籍状況（4月7日－223名）

- ・ 毎月月初めに，各校で報告を行うため，確認をお願いしたい。

④ 年間予定表

⑤ 巡回担当者会（案）

- ・ 各校巡回担当者会を開催予定。巡回担当者会の折には，連絡協議会のメンバーである校長先生，教務主任の先生，養護の先生にはご参加願いたい。

⑥ 保護者会通訳配置 予定表

⑦ 平成27年度 外国にルーツをもつ児童生徒 進学・就職先

- ・ 個人情報に掲載されているので，取扱には注意してほしい。
- ・ エルゲン瑛夏の進学先は公立高校のため，青文字に変更を願いたい。

⑧ 個人調査票・正式名一覧・追跡調査（各校配付済み）

⑨ 岩倉市 市内7校 年間行事予定表（各校配布済み）

⑩ 今年度の取り組み（予定）

- ・ 公開研修会（月1回）
昨年度から引き続き行う予定である。黄色の網掛けは外部にも発信し，参加を募っているものである。
- ・ スキルアップ研修（月1回）
- ・ 高等学校視察（定時制）
外国人の進学先が定時制になることも多いため，視察を予定している。
- ・ 中日こども新聞の活用
NIE全国大会 2017 第22回（名古屋国際会議場）で発表予定
- ・ 情報交換会（夏期休業中）



7月22日に外国にルーツをもつ児童生徒指導に関する情報交換会を計画している。外部の外国にルーツをもつ児童生徒指導に関わる先生方との情報交換会とする予定である。

※ 他県、他市町の日本語担当の先生方やさまざまな立場の方々との気軽に情報交換ができる場の設定

⑪ 巡回指導について

- ・ 児童生徒の増減や日本語能力に応じて、臨機応変に変更。
- ・ 各校の授業参観や学校訪問の日も時間割通り指導を行う。

※ 兼務命令で巡回指導を行っているため、曜日変更などへの対応は難しい。

⑫ 学校生活適応指導（集中初期指導）

- ・ 受け入れ時に、該当するかどうか随時相談。
- ・ 本日より、東小学校でスタート。

⑬ マニュアル（校長先生・教頭先生、教務主任、養護教諭向け）

- ・ 指導要録の書き方（未定）
- ・ 日本語指導の内容をどのように指導要録に記載するかは、未定。

⑭ 担当者会記録の扱い

- ・ マル秘のマークをつけて配布を行う。取扱に注意していただきたい。

⑮ 国際理解教育への取組

- ・ 日本語担当から提案させてもらうので、ご指導お願いしたい。

（2）岩倉市日本語指導方式

『ユニバーサルデザインを取り入れた指導』

- ・ モジュール形式
- ・ ICTの活用

平成28年度 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 スローガン

○ 挑戦と向上心 謙虚な姿勢、感謝の気持ち

（3）その他

① 書類関係

- ・ 受入れ手続－各校、教務主任、学年で対応。
- ・ 翻訳文書－ホームページに掲載（担任へ連絡）
- ・ 日本語教育が必要な外国にルーツをもつ児童生徒 報告－各学校で要確認

② 公開指導、意見交換会 － 南部中学校で実施 11月4日(金)

③ ブラジル人講師勤務

- ・ 勤務時間（8:30～16:00）を超過する場合は、室長まで。

④ 日本語能力試験－7月、12月

⑤ 第2回連絡協議会 平成29年3月8日（水）

○ 意見交換、質疑・応答

・ 五条川小学校 校長

「こども新聞」はどのように活用しているのか。

・ 日本語担当 副室長

中日新聞に子どもウィークリーという新聞があり、各校に届けられている。現在は、日本語指導にどのように生かしていけるかを試みている。

・ 岩倉南小学校 校長

事務局移動の際の室長を中心とした、スタッフの働きぶりがすごいと思った。室長とスタッフが丸となってやっている。外国人の親も日本人の親も同じだと思っている。今後もそういう気持ちでやっていきたい。



- ・ 日本語担当 室長

明日南小にフィリピンの子が転入予定であり、学校生活適応になると思われる。現在、東小学校単独の6名が学校生活適応だからよいのだが、南小学校の児童が学校生活適応になった場合、保護者の送迎の問題が出てくると考えられる。今後の対応について苦慮している。昨年度は、岩倉南小学校では、どのように対応されたのか。

- ・ 岩倉南小学校 校長

朝は牧野先生が送り、帰りは4役で迎えに行っていた。

- ・ 小学校センター校 養護教諭

新1年生20人のうち、13人が外国人で、うち5人が日本語ゼロの状態である。日本で5～6年過ごしているのに、日本語が話せない児童もいる。しかしながら、先生方に力をもらって、子どもたちが成長していているのを感じる。



○ 教育委員会より（有尾管理指導主事）

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

今日午前中に市の校長会がありまして、教育長先生方より校長先生方に「学校の運営に関する夢を語ってください。」という要望があった。校長先生方は、お一人お一人語られた。どの校長先生方にも共通する望みは、子ども達が楽しく過ごすことはもちろんだが、先生方が楽しく元気に過ごしていける、そういう職場をつくっていくんだという気持ちを感じた。

日本語・ポルトガル語適応指導教室は、この16年で、大変な進化を続けてきた。先生方の努力で右肩上がりで進化を続けてきた。右肩上がりといえば、自分が子どものころ、日本も右肩あがりで進化してきた。しかし今は、「豊かさって何」ということを考えざるをえない状況になってきている。校長先生方が望まれる、夢として描かれる学校生活の姿、まさにそれが、日本語教室にあてはまると確信している。つまり、スタッフの皆さんが豊かに、楽しく、元気に、子どもたちに向き合っていくこと、自分たちの生活を作っていくこと、これなくして、日本語教室の今後の進化はないと思っている。

先生方の満足度が子どもたちの満足度を決定する。それは、学校でも日本語・ポルトガル語適応指導教室でも 全く同じである。先生方がしっかりつながりあって、意見を交わしながら、関わりをもっていくことが大事である。

各学校の先生方をお願いしたいのは、在籍校の支えなくしては、それは成り立たないということである。日本語スタッフの皆さんが在籍校の先生方としっかりつながっていくこと、そして、居場所がしっかり確保されていることが大切だと考える。校長先生方、教務主任の先生方にご配慮いただけたらと思う。さらなる進化を教育委員会もしっかりと支えていきたい。

高橋校長先生が言われた「モジュールの新しい形」についても考えている。そして、学校生活適応に関する送迎の問題も、教育委員会として考えていきたい。やれることはやっていくつもりでいる。よろしくをお願いしたい。



4月～

学校生活適応指導 岩倉市立岩倉東小学校



- 該当児童 18名（男子9名，女子9名）
- ・ 1年9名，2年3名，3年2名，4年2名，5年2名
 - ・ ブラジル11名，トルコ2名，パキスタン2名，フィリピン2名，中国1名
 - ・ 東小14名，曾野小2名，南小1名，北小1名

4月

相談会

日時 4月18日 岩倉市立南部中学校
4月21日 岩倉市立岩倉東小学校

4月～

研修会 毎週 水曜日 事務局(岩倉南小)を中心に



5月

外務省外国人課 視察

- 1 日時 5月27日(金) 9:00～
2 会場 岩倉東小学校，南部中学校
事務局（岩倉南小学校）
3 内容 日本語指導見学
岩倉市の取組説明
質疑・応答



5月・6月

各校での巡回担当者会

通常，事務局で行っている担当者会を市内7校の学校へ日本語担当者とブラジル人講師が出向いて行う。

各校の連絡協議会メンバー（校長先生，教務主任，養護教諭）や担任の先生方との意見交換をし，多方面の意見を今後の活動に取り入れていくことを目的に5月から6月にかけて実施。



6月**江南市 市議会議員視察**

- 1 日時 6月8日（水）10:00～12:00
- 2 場所 岩倉東小学校
- 3 視察者 江南市市議会議員，
教育課長，管理指導主事
- 4 内容 指導見学，説明，質疑応答

**6月****稲沢市日本語指導者研修会 講師**

- 1 日時 6月8日（水）14:00～16:00
- 2 場所 稲沢市役所 勤労福祉会館

**7月****進路説明会**

外国人生徒とその保護者が日本の教育制度と受験制度の正しい知識を得，よりよい進路選択をするための情報を提供するとともに，具体的な進路相談の場とする。

- 1 日時 7月1日（金） 18:30～19:30
- 2 会場 南部中学校 南多目的室
- 3 プログラム
 - (1) 受付
 - (2) 進路説明
 - ① 日本の教育制度について
 - ② 上級学校の種類について
 - ③ 受験制度について
 - ④ 入学までの流れ
 - ⑤ 授業料など学費について
 - (3) 座談・情報交換
 - (4) 卒業生からのメッセージ
 - (5) 個別進路相談

**7月****日本語能力試験 前期**

- 1 日時 7月3日（日）
- 2 会場 N1/N3－愛知学院大学，N2－名古屋工業大学
- 3 合格者 受験者 19名中－ 合格 12名，不合格 7名
 - ・ N1 合格者－－ 1名（受験者 6名中）
 - ・ N2 合格者－－ 9名（受験者10名中）
 - ・ N3 合格者－－ 11名（受験者11名中）

7月**夏期 情報交換・交流会**

- 1 日時 7月22日（金） 10:00～16:00
- 2 会場 事務局（岩倉南小学校）
- 3 内容 テーマ別情報交換会
グループに分かれての情報交換・交流
日本語教室公開，資料閲覧
全体会
- 4 参加者 67名



- ・ 県 外 4名 (教諭-1名, コーディネーター・相談員-3名)
- ・ 県 内 36名 (指導主事-2名, 教諭・講師-14名, 語学相談員・指導員-10名, ボランティア-3名, 大学関係-7名)
- ・ 市 内 10名 (管理指導主事-1名, 指導主事-1名, 校長-4名, 教務主任-1名, 教諭-3名)
- ・ 担当者 17名 (日本語担当者-15名, ブラジル人講師-2名)



参加者の感想より ～一部抜粋～

情報交換・交流会 (午前－教科指導グループ)

初期指導から教科指導へどのように進めていいかわかった。

自分の学校で使えることが多くありました。日本語教室でも評価をし、保護者に発信していく必要があるのだと知り、岩倉市の評価方法を参考にできたらと思います。

教材について詳しく聞けて良かったです。評価についてさらに詳しい情報があれば伺いたいです。

悩んでいることについて具体的に話が聞けたので大変参考になりました。岩倉市の取り組みを実際どのように行っているかをお聞きすることができ、ありがとうございました。

リライト教材による指導法を初めて知りました。自分でも挑戦してみようと思いました。WEBサイトも色々知ることができ嬉しかったです。

他の地域、学校それぞれの組織、取り組みについて学ぶことができた。

教員ではありませんが、同じ外国にルーツをもつ児童生徒の指導をしている者として、貴重なお話を交換することができ、これからの指導に生かしていきたいと思います。

情報量が多くて頭がパンクしそうです。しかし、教育現場の熱意、各学校の体制・取り組みがよくわかり勉強になりました。保護者との関わりも考えさせられました。進学にお金がかかることも、何度も言わなくてはならないこと、認識しました。

情報共有できて、充実した内容でした。

情報交換・交流会 (午前－初期指導グループ)

全く日本語が話せない子が急に増えたため、本当にどうやっていくのか悩んでいました。初期指導はなるべく短期間でぎゅっとやる方がよい。早めに在籍学級へ、という話があり、勉強になりました。

初期支援を受けている子と受けていない子では、後の伸びが全然違うというお話を聞き、心強く思いました。

情報交換・交流会 (午前－保護者対応グループ)

なかなか「これだ!」という解決策はすぐにあるわけではないが、みなさんの取り組んでいる工夫や努力を共有できたことでエネルギーが頂けました。

初期指導の大切さを痛感しました。途中編入の場合、指導時間の確保が難しいけど、市などの単位で作って頂けるとありがたい。

情報交換・交流会（午前－進路指導グループ）

いろいろな立場の方から意見が出て、感心するばかりでした。

小学校入学前から情報提供が必要である。

同じ悩みを抱えていらっしゃる先生もみえて、解決策を探すことができた。

実際に日本語教育に携わっている方のお話を聞くことができて、とても勉強になりました。学生という立場を生かして何かできることがあるのではないかという自信につながりました。

情報交換・交流会（午後－異質グループ、同質グループ）

どの先生も似たような悩みを抱えていらっしゃる事が分かりました。どこの家庭も日本語力に乏しい、仕事が多忙との理由で子どもの学習に付き添うことが難しい中で、担任がどこまで支援できるのか、まだまだ悩みが尽きません。個々の段階、性格に合った支援を可能な限り、取り組んでいかなければならないと思いました。

お互いのもっている情報やスキルの交換はとても大切だと感じた。

同じ悩みをもつ方々と話せて安心し、さらに解決できてよかった。

大事な手紙は封筒に入れて保護者に渡す、生徒の良いところを連絡帳に書いて保護者が連絡帳を見てくれるように習慣をつけるなど、参考になりました。

日本文化に慣れさせることが大切なのか、母国の文化を重視してあげることが大切なのか、そのバランスがとても難しいと思いました。

他の自治体の取り組みや悩みを聞いて良かったです。

小中連携の大切さを感じました。地域の中学校にも日本語教室はありますが、中学生で来日した子しか受け入れていない状況で連携ができていません。声を上げていこうと思います。

「取り出し指導」や「入り込み指導」について、担任の先生、学校全体での情報交換が大切だと思いました。ブラジルで育った方の話で文化の違いを考えさせられました。

自分の悩み（初期指導中に関わった中学3年、2名）に答えが出て助かった。

様々な地域の情報を教えていただき、勉強になりました。これをきっかけにネットワークが少し広がった感があります。

同じような悩みを抱えている方々のお話が聞けて、非常にためになりました。自分もまた、明日からがんばろうという気持ちになりました。

学習支援教室があちこちで増えていることがわかりました。年々、支援が充実していっています。それはここに集まる皆さんの熱意なのだと思います。

大変参考になりました。岩倉市は、私の現場にとっては理想の形に見えますが、日々問題を抱えているとのこと、勉強になりました。

色々な立場から多くの意見を聞くことができて良かったです。教員という立場でないと意見が言えないような状況の学校現場ですので、本当にありがたかったです。

日本語教室 教材・教具、資料等閲覧

改めて教材作りのストックの多さとそのための努力のすばらしさを感じた。

教具がたくさんそろっていて、自分でも作ろうと思った。

教材の多さに驚きました。「プリントする度にファイルにとじていき教材を蓄積しては」とアドバイスをいただきました。日本語だけではなく、教科の教材研究の際はそうのようにしたいと思います。

自分達の学校に比べて教材がしっかり学年ごとにまとめてあり、どの先生が入っても指導ができる準備ができていました。私の学校でもなるべくデータ化し教

材のストックを作っていきたいと思いました。

レベル分けされたテキストなど、きちんとしたカリキュラムが組まれていて素晴らしいと感じました。

一つ一つの資料が活用しやすくまとまっていて、素晴らしいと思います。本校でもできるところから実践していきたいです。

視覚に訴える教材が多く、子どもたちが意欲的に取り組めると感じました。

統一された教材の保管の仕方に感激しました。非常に参考になりました。

ていねいに使いやすく作られた教材、素晴らしいです。戻ってから教材作りに励みます。

大変参考になりました。工夫もされていて、きれいに整理されているところも素晴らしかったです。今後、自分が携わっている教室でも使いたいと思います。

そのまま持ち帰りたいぐらいの完成度にただただ驚いています。

たくさんの教材・教具・資料をありがとうございます。作成でご苦労されたこと、それぞれの特徴・活用のポイントなどの説明があるといいと思いました。

すべて販売できるほど素晴らしいです。

その他

教員と語学補助員の連携、在籍・巡回スタッフが機能していて、室長を中心にチーム岩倉の活動が積み上げられていて理想の形を具現化していらっしゃる。素晴らしい。並々ならぬ努力をされていていらっしゃることに敬服します。

勤務校も岩倉市同様、日本語指導・支援の必要な子どもがどんどん増えている状況です。「これをプラスにとらえて」という岩倉市教委の先生のお話、まさにそう思うことからスタートした本日の研修でした。

地域で一人一人の教師が「頑張る」ことが、連携・協力し合えるようになるといいと思いました。いい機会を与えてくださってありがとうございました。

岩倉市の先生方の熱意とおもてなしの心、感動しました。たくさんの「お土産」をありがとうございました。

毎年参加させていただいています。今回は、情報交換会を3回に分けて下さり、いろいろな人と話をし、情報がいただけて、ありがたかったです。

16年の歩みを考え、初年度の私も上を目指してがんばろうと思いました。本当にありがとうございました。また、授業公開も来ます。

7月・8月

夏休み宿題教室 (各校)

1 会 場 日本語教室

2 内 容

- ・ 日誌の指導
- ・ 感想文、応募作品、習字など、家庭で取り組むことが難しい課題

『感想』

- ・ みんなで勉強できてよかった (児童1年)
- ・ 家ではやることがあまりわからないから、学校でやるとできた (児童4年)
- ・ 家だとゲームばかりやるこここに来たほうがいい。(児童3年)
- ・ みんなしっかりととりくんでいるので感心した。(教員)
- ・ 朝から規則正しい生活をしているのでいいことだ (教員)



8月

愛知県立大学生 サポート夏休み宿題会と交流会 五条川小学校

- 1 日 時 8月10日 9:00～12:00
- 2 会 場 五条川小学校 図書室
- 3 支援者 愛知県立大学1年 4名
- 4 作文支援

- ・ 外国にルーツをもつ児童が一番苦手とする感想文と福祉実践作文の読書メモを一緒に作ったり，構成のしかたを教えてもらったりした。

5 交流会

交流会では，将来の夢や今一番がんばっていることを順番に発表した。

『児童の感想』

- ・ きれいなお姉さんと一緒に勉強できて良かった。
- ・ ぼくも，愛知県立大学に入りたいと思った。
- ・ おしえかたが上手でわかりやすかった。

『大学生の感想』

- ・ 一生懸命取り組んでいる姿が素晴らしいと思った。
- ・ 将来の夢をもっていることがすごいです。

**8月**

高校との懇談会

- 1 日 時 8月2日（火） 14:00～15:40
- 2 場 所 一宮高校 定時制
- 3 内 容 定時制について（生徒数，特色，部活動，就業，アルバイトなど）
中学校卒業者の学習について
質疑応答，意見交換

8月

豊田市保見地区の取組視察

- 1 日 時 8月8日（月）
- 2 会 場 NPO法人トルシーダ，西保見小学校，
NPO法人子どもの国
- 3 参加者 岩倉市管理指導主事，岩倉東小学校校長
岩倉市日本語適応指導教室
（室長，副室長，主任，副主任）

**8月**

小・中学校教育課程研修集会

- 1 日 時 8月10日（水）
- 2 会 場 愛知県総合教育センター
- 3 参加者 各地域で外国にルーツをもつ児童生徒に係わる教員

8月**多文化共生スピーチコンテスト**

- 1 日 時 8月27日(土)
- 2 会 場 名古屋国際センター
別棟ホール
- 3 参加者 岩倉東小学校6年生児童
- 4 受 賞 奨励賞

**9月****神奈川・上智・神田外国語大学講師
ポルトガル語指導視察**

- 1 日 時 9月9日(金) 9:00~12:00
- 2 場 所 南部中学校
- 3 参加者 神奈川・上智・神田外国語大学講師1名

**9月****岐阜県可児市 日本語指導視察**

- 1 日 時 9月14日(水) 9:00~12:00
- 2 場 所 南部中学校
- 3 参加者 可児市立蘇南中学校4名, 今渡北小学校1名

**9月****福井県越前市 公開研修会視察**

- 1 日 時 9月14日(水) 14:00~16:00
- 2 場 所 岩倉南小学校
- 3 参加者 越前市教育委員会2名

**9月****豊明市教育委員会 事務局来校**

- 1 日 時 9月20日(火) 9:00~12:00
- 2 場 所 岩倉南小学校
- 3 参加者 豊明市教育委員会指導主事1名

10月**東京福祉大学 事務局来校**

- 1 日 時 10月2日(日) 14:00~16:00
- 2 場 所 事務局(曾野小学校)
- 3 参加者 東京福祉大学講師1名



10月**就学時健診 市内小学校**

保護者には、別室で小学校入学に向けての準備や小学校のオリエンテーションを行う。外国人幼児には、簡易日本語テストを実施し、個々の日本語力を把握するとともにプレスクール参加対象者をリストアップする。

**10月****南中ふれ愛フェスティバル**

- 1 日 時 10月15日（土）
- 2 会 場 南部中学校
- 3 内 容

第一部：日本語教室発表「クイズ de 多文化共生」

『発表した生徒の感想』

私は、最初に皆の前で発表をすることにととてもきんちょうしていました。しかし、たくさん練習したので、本番では落ちついて話すことができました。友達にも「上手に話せてたよ。」と言われたのでとてもうれしくなり、より自信をもつことができました。

（2年生 女子）



第二部：ザ・多文化共生クイズルーム

フィリピン、ブラジル、ペルー、パキスタン、アメリカ、フランスのクイズを生徒が作成し、日本語教室にて掲示。

参観者はクイズに答える形で参加。クイズに答えてくれた方には、国旗カードをプレゼント。

**11月****「次世代の学校」指導体制の充実のための有識者ヒアリング**

- 1 日 時 11月2日（水）16：00～18：00
- 2 場 所 衆議院 第2議員会館
B1F 第5会議室
- 3 参加者 国会議員，文科省関係者





岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 公開指導 南部中学校 11月4日（金）

公開指導参加者 ー95名（市内ー42名，県外・市外ー36名，担当者ー17名）
意見交換会参加者ー74名（市内ー26名，県外・市外ー31名，担当者ー17名）
情報交換会参加者ー45名（県外・市外ー28名，担当者ー17名）

◎ 公開指導 2時間目 9:45～10:35 ○ 指導教室及び指導内容等

指導内容	ポルトガル語指導	日本語初級指導1	日本語初級指導2	日本語中級指導
外国にルーツをもつ生徒の状況及びねらい	日本に長く住んでいる生徒が母語であるポルトガル語を保持し，保護者とのコミュニケーションがとれるように指導をしている。また，児童一人一人のアイデンティティーを自覚させるよう，ブラジルの文化にふれる機会を設けている。	日本語が十分身につけていない生徒に対して必要な語彙や表現などの日本語指導を行うとともに，教科の基礎的な内容を補う指導をしている。また，将来日本で生活していくために，自分の考えを表現する力をつける指導を行っている。	日本語が十分身につけていない生徒に対して必要な語彙や表現などの日本語指導を行うとともに教科の基礎的な内容を補う指導をしている。また，自分の考えや思いを表現することができるよう，発表の練習や簡単な作文指導も行っている。	日本語での日常会話に支障はないが，教室での学習についていけない生徒に対して，教科の基礎的な内容を補う指導を行っている。また，自信をもって意欲的に授業に参加できるよう，個々のレベルに合わせた指導を心がけている。
指導者	ブラジル人講師	日本語担当者	日本語担当者	日本語担当者
	・3年生 2人 ・2年生 2人	・3年生 3人	・3年生 3人	・1年生 3人

ポルトガル語指導（南多目的室 南館2階）

- 読解
 - ・ テキストを読んで，内容を理解する。
- オノマトペ
 - ・ 身の回りの擬音語・擬態語について，ポルトガル語と日本語のちがいを知る。
- 発音
 - ・ 子音字Xの発音を知り，練習する。



『参加者の感想より』

先生が素晴らしいと思いました。高度な勉強をしているなど感心しました。母語保持の取り組みで，自己肯定感を育てている試みは，素晴らしいです。本当は，人生にかけて必要な教育ですが，日本の行政から見てあまり重視されなく，実現しにくいのが残念です。

日本語初級指導①（日本語教室 南館2階）

- 理科
 - ・ 月の満ち欠けのしくみについて知る。
 - ・ 満ち欠けによる月の呼び名を知る。
- 日本語
 - ・ 「長所」「短所」について知る。
- 日本語
 - ・ 自分の長所を語るための言葉を知り，自己アピールできる表現を覚える。



『参加者の感想より』

理科における動作化をはじめ、単に言葉を教えるだけでなく、概念形成まで図っていて素晴らしいと思いました。

来日して1年ほどの短い期間にこんなにも日本語の力が身についていることに驚きました。面接対策の語彙や作文はとても役に立ちそうです。

日本語初級指導②（南多目的室 南館2階）

- 漢字
 - ・ 本時で扱う漢字の読み書きを練習する。
- 社会（公民）
 - ・ 私たちの生活と経済活動について知る。
- 数学
 - ・ 図形の関係（相似）を知る。



『参加者の感想より』

社会で勉強する購入や消費など、日常生活ではなかなか身につかない言葉を、パワーポイントを使って、かなり丁寧に教えられている点に驚きました。ほぼマンツーマンの手厚さが、公教育を超えているように思いました。

図形でババ抜きをされていて、ただ教えるだけでなく、ゲーム性も取り入れられるところも、少人数の日本語指導の良い点だと実感しました。

日本語中級指導（日本語教室 南館2階）

- 漢字
 - ・ 漢字を組み合わせる熟語を作る。
- 社会
 - ・ ルネサンス時代の文化と特徴について知る。
- 国語
 - ・ 評論の文章を読み、筆者の考え方の根拠となる部分を読みとる。



『参加者の感想より』

1時間の中に覚える、理解する、まとめる、発表するなど、生徒自身の様々な活動が盛り込まれており、素晴らしい授業展開だと感じました。先生方がとても丁寧に教材研究をなさっていることがよく伝わってまいりました。

教師の日本語がわかりやすく、明確だと思いました。子どもも落ち着いて授業に臨んでいる。うなずいて反応していて、理解しているのがわかりました。

【全体を通して】

昨年、東小学校、今年、南部中で見学させていただきましたが、いずれも教科、教え方、すべて良く感心いたしました。先生方も丁寧に教えられている感じがします。外国（日本）に来て、日本の言葉は大変重要です。生活できるようにしてあげることが大切です。岩倉市の取り組みは素晴らしいと思います。

全体を通じて教材が周到に用意されていて素晴らしいと思いました。短い時間の中でポイントがしっかり理解できるように整理されていて、効果的な指導がなされていると思いました。いろんな教科を取り入れて教えられている先生方の幅広い知識にも驚きました。

日本一の指導体制だと思います。今後、NPOや国際交流協会などどのように連携していくかが課題だと思います。

◎ 意見交換会

○ 岩倉市教育委員会 教育長あいさつ

朝晩急に寒くなってきましたね。北海道では通常紅葉してから例年1週間かけて落葉するものが、今年は1日で落ちてしまったそうです。冬が駆け足で来ました。そんな中、今日はたくさんの方にご参加いただき、本当にありがとうございます。この公開は文科省や県教委が支援しているといったものではないのですが、こんなにたくさん集まっていたいただいて、正直驚いています。先日、ある方とお話していたところ、「先生、岩倉はいいですね。外国籍の子がたくさんいるけれど、指導体制が整っているし、指導教材も揃っている。」と、そんなことを言われました。「いやいや。これが初めからあったわけではありませんよ。十数年かけて、室長が1つずつ積み上げて、そしていろいろな方と連携を取りながら、作りあげてくれたものなんですよ。」と話しました。その中で自分自身の思い出として、十数年前に岩倉市内の校長をやっていたときに、突然南小に2名の外国籍の子が入学してきました。早く学校に馴染んでもらえたらいいなという気持ちで受け入れたのですが、本当に担任が大変な思いをしました。給食やその他生活面における基本的なことができないため、市教委や室長に相談をして、みんなで話し合いました。当時は本当に何もない状態でしたから、担任にも何とか頑張ってくれと言っていた状態でした。その後、市の方も動いてくださり、最初の数か月、校長や教頭が車で送り迎えをして、週1回東小に通いながら、まずは基本的なことからできるようにしていきました。そのようなことから始まり、たくさんの経緯を経て今がありますが、まだまだ変えていかなければいけないところはたくさんあると思います。どうぞみなさんの忌憚ないご意見をお聞かせいただければと思います。ちなみに岩倉適応指導教室は「日本一愛のある適応教室」を目指して頑張っております。ぜひみなさんにとっても1つでも多くのお土産を持って帰っていただける、そんな会にしたいと思っています。よろしくお願いいたします。



○ 会場校南部中学校 校長

今日はどうもありがとうございます。本日見ていただいた通り、普段も嘘偽りなくこのような形で行っております。授業を見ていただくと、うまくいっているなど思われるかもしれませんが、実際はいろいろな課題を抱えているというのが事実です。例えば今日見ていただいた生徒の多くは実は3年生です。今年受験を控えています。どうでしょうか。彼らに受験に備えての学力があったのでしょうか。どうしてもそういった面で将来に不安を抱え、自信をなくして、夢をなくしてしまう子も出てきてしまいます。日本語担当の先生もそういったところで苦しみながら子どもたちと向き合っていて指導をしているのが現実です。日々の日本語指導を見ていると、一生懸命日本語を教える、日本の生活習慣を教える、一生懸命日本に馴染むように、つまり早く日本人になるようにと指導をしているように見えます。そういった中で外国にルーツをもつ生徒が、自分のアイデンティティーを大切にしながら日本で生きていくという自信や誇りを持ち続けることができるのかと、私はそんなことを考えてしまうことがあります。やっぱり日本で生きていくわけですけども、彼らは外国人というアイデンティティーも持っているわけですから、そういったものを大事にしながら、日本で生きていく力も身につける、両面から力をつけるということが、今本当に大きな課題になっているのではないかと思います。今日授業を見ていただいて、いろいろなご意見をいただき、また私たちもそれを参考にしてやっていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



○ 質疑応答

三重県津市立南郊中学校 校長

- ・ 本校約12%ほどが外国籍です。保護者が複雑な家庭環境をお持ちの方が多く、子どもが学校に行かないことをあまり構わないことも多いです。現在市と相談して、保護者に向けての適応指導教室を行った方が良いのではという話がでています。何か保護者に向けて取り組まれていることがあれば、教えていただきたいと思います。

→ (主任)

小学校入学前の就学時検診の際に、入学後の話や、つまりきそうなポイントについて紹介しています。一回だけでは難しいので、保護者会などでその都度お伝えしている現状です。また中学校へ進学する際に、小学校との違いについてや進学にはお金が必要となるため、入学時から繰り返しお伝えしています。



→ (室長)

保護者には繰り返しお伝えしていますが、正直保護者が変わってもらうことは本当に難しいと思います。岩倉で育った外国籍の子が親の世代となり、変わるのではないかと考えています。

→ (副室長)

保護者を集めようとしても、本当に来てほしい親ほど来てくれません。ただ、先日のシュラスコのイベントには積極的に参加してくれたので、時にはそんなイベントも必要なのではと感じました。

→ (愛知淑徳大学非常勤講師)

2つ情報提供をさせていただきたいと思います。まず1つ目は愛知県多文化共生推進室が28年度初めて取り組み始めた事業なんですけれども、「子育て外国人の日本語習得モデル事業」というものが現在進行中です。この中身は、日本で子育てをする親に対してできるだけ早い段階で情報提供をしようというもので、子どもの言語環境をどう整えたらよいか、親ができることはこういったことなのかということ、母子手帳を渡す乳幼児健診の時点で保健師さんからお話をしてもらおうと思います。そして、ずっと日本の学校に通わせるのであれば、親も日本語を勉強してくださいということで、親を対象にした日本語教室の運営というものを、県内の5つのNPOに委託をして、県の予算をとって進めているところです。これは3月に報告書がでる予定ですので、愛知県多文化共生推進室のHPなどをご覧いただければいいかと思います。親への働きかけだけではなく、そういった親に関わる行政の窓口の方々にも知っていただくためのリーフレットづくりというのも、この事業の中に入っています。もう一つは、豊田市の取り組みなんです。豊田市は豊田日本語支援システムというものを名古屋大学と協力して、地域の住民の方にできるだけ日本語を勉強する機会を与えようとして取り組んできて、もう7年目になります。それを今までは企業の中や地域に日本語教室を作るという形でやってきたんですが、今年の10月から小学校の空き教室を使って保護者を対象に日本語教室を開始しました。特にこどもが学校生活を送るために知っておいてもらいたい日本語を優先的に学ぶ場を作っています。週1回とりあえず12月までの予定で、その後続けるかどうかは様子を見ながらですが、西保見小で水曜日の午後に行われています。親への取り組みと言いますと、これからそういったことが増えていくのではないかと考えています。



豊橋市立東陽中学校 教諭

- ・ どのようにこの指導体制を作り上げていったのでしょうか。市議や校長など多くの方がここに集まってくださっているが、みんなで同じ方向を向くのはとても難しいと感じています。
- ・ 先生の質はどうやって保っているのでしょうか。豊橋では産休に入る前の先生があてられたり、日本語教育に関わったことがない先生が担当したりすることが多く、

専門性のある先生はなかなかいません。

→ (室長)

開設当初から、市内全体に平等な教育をと思い、巡回指導を始めました。そのときから市内全体で問題に取り組んでいます。進んでいく中でいろいろな問題が発生してきたため、しっかりとした組織を作ろうという話になり、連絡協議会を立ち上げ、現在の形ができました。外国にルーツをもつ児童生徒に対する偏見はやはり岩倉市民にもあります。それを無くしていくため、生徒児童の頑張りを見せていくために公開指導を始めました。不動産屋さんを回るなど、地道な活動をしてきた結果が今に繋がっています。

担当教員は海外経験者や日本語専門教師を集めるようにしています。ただし、教員経験は足りない者が多いです。担任の目線からも考えられるよう、そういった点を補うために、毎週火曜水曜の午後を使って情報交換や研修会を行っています。

→ (岩倉市教育委員会 管理指導主事)

ポルトガル語指導担当者2名を除いて、全て正規の枠の教員です。日本語担当として加配として与えられた枠に入っています。こちらからは、講師登録等から、こういった活動に興味がありそうな先生方の情報をお伝えしています。

三重県津市立南郊中学校 校長

- ・ 将来を見据えてポルトガル語指導を行っているということでしたが、今後帰国予定の子どももいれば、定住予定の子どももいると思います。そこはどうやって把握されたのでしょうか。希望を確認したのか、それとも指導は全員に行っているのでしょうか。

→ (副主任)

ポルトガル語指導に関しては、中学校入学時に保護者に確認しております。希望があれば、家庭内の言語環境を整えるという意味でも帰国するしないに関係なく指導を行っています。



- ・ 話が少し戻ってしまいましたが、地域の理解を得るためにどういった活動を行っているかという点で、東小の先生からお話いただけますか。

→ (岩倉東小 校長)

私は本校4月からですが、東小のことを地域の人たちが悪くいってるということを経験しました。最初は聞き、また議員さんから何とかしなければ学校がつぶれると言われ、これは何とかしなければと思いました。そこでまずは学校を知ってもらうことから始めようと思い、今まで配っていなかったPTA新聞を校区の全てのところに配ることから始めましたHPを充実させようということで、できるだけ日本語とポルトガル語の2言語で作るようにしました。あとこどもたちには将来日本で役に立つ人間になってもらわないといけませんので、将来ちゃんと税金を払える大人になって欲しいので、夢をしっかりと持たせることが大事だと思いました。先日は愛知県立大学の外国籍の生徒さん達を呼んで、小5・6年生に話をしてもらいました。途中で日本に来た外国人でも頑張れば大学、大学院に行ける、それを伝えられる機会となりました。こどもたちの感想を見ますと、自分たちも大学にいたいという子がたくさんいましたので、今まで比較的安くてきつい労働をしている親の姿しか知らなかった子供たちに、日本社会で活躍している先輩方を見せることで、何かしら変わってくるのではないかと考えています。学校の中でも、ぜひ保護者に向けての日本語教室や、日本人に向けてのポルトガル語教室などを行っていったらと、自分の中では考えています。そんなふうにして、こどもたちのために、そして地域のために東小学校に何ができるのか、そんなことを考えていきたいと思っています。



→ (室長)

2日前に来年度の日本語教育に関する予算の件で、政府の国会議員に話をしたいということで文科省に行って来ました。そこでも先程の話と同じように、「こどもたちを単純労働者ではなく、よき納税者に育てなければいけない。そうすれば今投資していることは、いずれ国に還元される。そのように財務省を説得してください。」という話をしてきました。

江南市立宮田中学校 教諭

- ・ 母語指導が時間割の中にどう位置づけられているのか伺いたいです。日本語指導は特別な教育課程に位置付けられていますが、ポルトガル語指導は、親学級がどういった授業をしているときに取り出しているのかということを知りたいです。関連して、時間割をどのように組まれているのかということも聞きたいです。現在我が校では比較的レベルが高い生徒は国・社の時間を取り出しており、低い生徒は実技教科以外は出来る限り取り出しています。

→ (主任)

基本的には国語の時間に取り出しています。また算数が苦手な生徒が多いため、算数の時間に取り出していることもあります。ポルトガル語は特別な教育課程の範疇外のため、岩倉市独自の対応として週1回国語の時間に行っています。

半田市立半田中学校 教諭

- ・ 日本語能力試験の指導までは無理と思っているのですが、どうやって行っているのでしょうか。

→ (室長)

日本語能力試験に関しては私がすべて行っており、公教育の範疇外になりますが、授業時間に取り出して行っております。それは岩倉市の愛だと思っていただければよいと思います。ただ、日本語能力試験の勉強はイコール国語力のUPになります。それを段階的に勉強していけるため、良いと思っています。特にあの子たちの苦手な読解力を、1つのやり方を教えてしまうことで、磨くことができます。彼らの励みになると同時に、親にとっては資格を取れることが嬉しいことだと思います。

名古屋市立東桜小学校 母語学習協力員

- ・ 日本語能力試験の申し込みについても学校が行って、会場にも先生が連れて行っているのでしょうか。

→ (担当者)

学校が一括で行っています。当日は小学生には保護者が付き添いをしており、中学生は生徒のみで行かせることとしています。現地で支援することはあります。

○ 岩倉市教育委員会 管理指導主事

本日は他府県からも多くの方々にお越しいただきありがとうございました。冒頭教育長より「日本一愛のある」という言葉がありました。今日ここで考えていたことは、「愛」の中身が少しずつ変わって来ているのではないかとということです。最初は日本にやってきた子が少しでも不自由がないようにというものだったのですが、それが「日本の生活になじむように」という考え方になり、さらに「日本人になるように」となってきたわけですが、さらに今、本当にそれでいいのか、新しいアイディアを模索する時代に突入してきているのかなと思います。具体的な例を申し上げますと、12年程前、私がこの学校で勤務をしていたときによく子供たちに言っていたことは、「せっかく日本に来て、日本の学校に通っているのだから、一度日本人の生活になじみなさい。そのためには、外国籍の子同士で固まらずにできるだけ日本語を使いなさい。」ということでした。その時は信念を持って言っていたましたが、本当にそれでいいのか、もう少し良いアプローチ方法はないかと考え直す時に来ているのかなと思います。



このように追及すればするほど、課題は出てきます。これまで私たちは岩倉に日本語・ポルトガル語指導教室がしっかりと指導体制を整えてきてくれたために、そこに甘えてきてしまったのではないかと考えています。最近校長会でもそういった話が出てきております。放課後に子どもたちが日本語や日本の生活を学べる、学校とは別の場所、また新しい角度からの取り組みが必要なのではないかと思っています。例えば保護者の方をどう啓発していくのか、ボランティアの方をどう発掘していくのかといったことです。このように、とにかくつながりをつくろうということで、先日は保護者の勤務先である派遣会社にも話を伺いに行きました。その際に「村瀬先生」と呼ぶ若い女性の声が聞こえました。振り返ると、村瀬室長がまだ活動を始めたばかりの頃に、南部中学校で指導をしていた生徒がいました。そのときは途中で学校をやめてしまったそうですが、大人になって、日本語の力を生かして通訳をしているそうです。第二世代が学校に入学してくる時代がもうそこまで来ています。また新しい愛がそこで見つかるのかな、見つけていかなければいけないのかなということ进行います。また午後いろいろなご意見をいただき、参考にしていけたらと思います。本日はありがとうございました。



◎ 情報交換会 14:00～16:00

〈1回目〉『いろいろな立場の方との情報交換』

○ Aグループ

- ・ 日本語をもっと読ませたいが、良い教材はないか。
 - 多読ライブラリーは、中学生が興味を示さない。
 - 光村の教科書であれば、リライトしたものがネット上にたくさんある。
 - 小学生で使う『手のひら文庫』は、中学生にとっても良い読み物である。
 - ・ 日本語担当だけが頑張るのではなく、学校全体が問題に取り組む環境を作りたい。
 - 年度初めに、全体に向けて生徒情報を伝え、彼らが抱える問題や不安点を共有する。
- 教師の無関心は生徒にも伝染し、陰で心ない言葉を言う生徒も増える。
- 日本語担当の役割は、日本語を教えることだけではない。保護者のサポートや、担任と生徒をつなぐ役割もある。

○ Bグループ

- ・ 進路について
 - 日本と外国では学校制度に違いがあるため、保護者や生徒の進路に対する認識の甘さが感じられる。
 - 津市では、教育委員会主催の実行委員会が7月と9月下旬に進路ガイダンスを実施している。
入試制度や内申点、及び各校の説明など具体的な話を聞くことができる。
 - 津市では昨年度は定時制を含んで100%の進学率で受け入れることができるそうである。
 - 難しいのは、過年度生の公立中学の受け入れである。(学校長判断)
 - 名古屋市では、名古屋国際センターにおいて、8月上旬に外国人に向けて進路説明会を多言語による通訳を交えて、無料で行っている。その他、多言語による情報提供、外国籍児童生徒教育相談や出国・帰国に伴う相談など各種相談事業も無料で行っている。県内の方はぜひ活用していただきたい。また、毎週日曜日、小・中学生を対象に初期の子ども日本語教室を行っている。15回で1000円とお値打ちである。また、名古屋国際センター主催で11/18・25に外国籍生徒による定時制高校の見学を通訳を入れて行う予定である。要予約であるが、まだ明和高校5名程空きがあるので県内の方はご利用ください。
 - 来年度から定時制高校の入試制度が変わる。外国人のための特別枠が増え、3教科を1時間で受験することができる。

○ Cグループ

- ・ 保護者対応について
 - 保護者の意識が低く、協力が得られない。

- 外国人が集住している地域ほど、コミュニティで孤立する傾向があり、コミュニティ内で正しくない知識や情報が広まる等の悪循環が見られる。
- 学校から直接働きかけても応じない保護者に関しては、意識が高い保護者を突破口とし、コミュニティの情報網を活用することが有効。
- ・ 取り出し指導時間について
 - 評定を考慮すると、学級での学習の時間を増やさざるを得ない。
 - 日本語力や取り出し時間について担任を交えて判定会議を実施している。(津市)

○ Dグループ

- ・それぞれの自治体が抱える問題について
 - 市内の学校数は多いが、センター校は4つしかないため、一斉指導が難しい。また、在籍学級の先生とコミュニケーションがほとんど取れない。(大阪市)
 - 岩倉市ほど、管理職の先生方や市教委に日本語教育に対して理解がある人が多くない。そのため、日本語加配の担当者が、国語や英語の授業をしたり、支援に入ったりする目的外使用も多い。(豊橋市)
- ・進路について
 - それぞれの自治体で、細かい部分は違うもののどこの自治体も外国にルーツをもつ生徒の保護者に対して、進路説明会などの情報提供の場を設けているが、やはり内容自体が難しく、本当に来て欲しい保護者が来ないという現状がある。
 - 外国人の特別枠選抜があるが、大阪では英語と数学、母語作文の3つであるため、日本語があまりできない子も、教科内容を理解していて、母語がしっかりしていれば、高校に行くことができる。しかし、高校での支援は手厚いものの、その生徒が大学受験を一般枠で受けることになれば、大学側は外国人なのかどうかが入學してからでないと分からないため、メリットもデメリットがある。
 - 愛知県の外国人の特別枠選抜は日本語国籍のみの生徒は受けることができない。

○ Eグループ

- ・高校進学について
 - 日本の小中学校に通っていない子どもに対して、ガイダンスを行っている。(ガリ勉クラブ)
 - 大阪では、外国人の特別枠選抜があり、英語と数学、作文の指導を中心に入試対策を行っている。また、高校でも日本語支援がしっかりしている。(大阪)
- ・下学年編入について
 - 来年留年するという約束で編入した生徒が、他の自治体に転入した時に留年を受け入れてもらえないケースがあった。(ガリ勉クラブ)
 - 浜松市では、一切下学年編入を受け入れていない。(浜松)

○ Fグループ (前半)

- ・家ではよく喋るが、学校では全く喋らない外国人児童への対処(場面緘黙症)
 - 愛知県が作った「優しい日本語」という携帯アプリがあり、それを用いて伝わりやすい日本語を使う。
 - 「こどもの日本語」という指導初期用の指導書を使うと良い。
 - 国際交流協会で様々な本が借りられるので、その児童に合った本を借りる。
 - 興味関心を引くことが大切。ゲーム形式のアクティビティで、形や色を学習するとよい。
 - 特別支援児童用の教材やタブレット教材だと、視覚的要素が強いので、初期の児童に適している。
- ・教務の立場から見た日本語指導担当
 - 日本語指導担当から、「現状、同じ指導をそれぞれの学年にしなければならぬ」ので、学年でなく同じレベルで一括で指導したい、と言われたが、実際にそれができるように時間割を組むのが難しいので、低・中・高学年で時間割を固めた。
 - 福井県でも、外国人児童が増えてきていると感じているので、これから整備をしていく必要がある。



〈2回目〉『同じような立場の方との情報交換』

○ Aグループ

- ・ 地域による情報格差
 - 名古屋では、230万人のうち、日本語指導が必要な人口が約2000人。(約0.09%)
豊橋では、38万人のうち、1100人(約0.3%) 名古屋では、外国にルーツをもつ人々への支援の意識が薄い人が多いことがわかる。
 - 名古屋では、区によって住んでいる外国人の国籍がおおまかに分かれているので、そこに言語にあった学習室を作ると良い。
 - 「ガリ勉クラブ」も精力的に活動してくださっていてありがたいが、本来は行政がやるべき仕事。名古屋はまだ整備が進んでいない。
 - 「ガリ勉クラブ」は最近、他市町からも多く来ている。同じ問題や悩みを共有できる仲間がいることが大きな要因ではないか。
- ・ 大学側に求めていること。
 - 小中学生にとって、外国にルーツをもつ大学生は夢のようなので、良いモデルとして、学校に訪問してもらい、話(生の声)を聞かせてほしい。
 - 小中学校の時間割と大学の講義時間がかぶるので、お手紙交換やスカイプなど、遠隔でのやりとりも考えてほしい。
 - (学習室などで)地域のこどもの支援
 - インターンシップという形で、学校での支援
 - 行事や遠足の引率
 - 夏休みの宿題教室などのサポート

○ Bグループ

- ・ 外国籍児童生徒の悩み
 - 外国籍児童生徒は孤独やひきこもり、貧困家庭などの割合が比較的多い。それらを解消させたいが、どうしたらよいものか。
 - 外国人に対して、就労証明や経済支援など行政にできることと、我々担当者を含め大人や社会ができることがある。例えば、様々な情報提供や日本語・教科指導及び支援、ボランティア活動、人とのコミュニティなどを行うことによって、上記の内容の改善につながるようにしていきたい。
 - YMCAなどNPO団体や学生ボランティアなどが、学習支援や心のサポートなど行っていて、そういった場所や人達との触れ合いが外国籍児童生徒の居場所や心の癒しにつながっているのではないか。

○ Cグループ

- ・ 自治体が抱える問題について
 - 対象生徒16人に対し、教員1名の支援体制である。異なる習熟度の生徒に、同時に日本語指導を行わなければならない。(湖西市)
- ・ 保護者への対応について
 - 国によっては、成績が悪ければ進級できないが、日本の義務教育では成績が悪くても卒業できる。自分の子どもの成績が悪く、高校進学が厳しいことをわかっておらず、トラブルになるケースも多い。
 - 成績表を確認していない保護者は、成績表の見方がわかっていない場合がある。岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室では、翻訳版を出すようにしている。
 - 日本語独特の遠回しな言い方では、保護者に正しく伝わらない可能性がある。子どもの将来のためにストレートな言い方をした方が良い場合がある。
- ・ 文化について
 - フィリピンでは台風は危険なので接近すれば外に出ない。ブラジルでも地域によって強い雨で地盤が緩むことがあり、危険なので外に出ないことがある。このような文化の中で育ってきたという違いを理解して、生徒指導を行う必要がある。
- ・ 進学について
 - 大学を出た後の進路も中学生のうちから考えておかなければ、例え高校に入っても、目標をもって学習することができない。
 - 高校の先生に来てもらい、高校進学後の学校生活を具体的に説明してもらう機会も必要。

○ Dグループ

- ・ 外国にルーツのある児童の高校進学について
 - 近年、国際結婚をし、外国から子どもを連れてきて編入させるケースが増加している。その際、高校生など学年が高いほど編入することが難しい。
 - 大阪では、外国にルーツのある児童に対してとても手厚い指導をする高校があり、卒業をすることができる児童が多い。
 - さらに大阪には、高校での児童数確保のために、高校受験の教科が英語、数学、母語という外国にルーツのある児童にも受かりやすいような教科になっているところがある。
 - 大阪の某夜間定時制高校では、日本の高校卒業の資格がほしい外国にルーツのある児童を大人数受け入れるが、教師の数と生徒の数が見合っておらず、満足のいく指導を受けられていない現状がある。
 - 外国にルーツのある児童の高校進学はやはり難しい。一宮市の夜間定時制高校や明和の定時制高校が人気が高い。
 - 平成29年4月に開校する愛知県立城北つばさ高等学校では、昼間部（普通科）120名、夜間部（ものづくり科）40名を予定しており、ものづくり科では資格も取ることができる。

○ Eグループ

- ・ 初期指導または初期指導後の教科指導へのステップアップについて。
- ・ 中学3年になって転入してくる生徒も多く、教科指導へどうつなげるかで困っている。
 - 岩倉市では、カリキュラムの中に、現学年につながる下学年での単元がまとめているので、ステップにあわせて、下の学年に戻り指導をすることで、現学年の勉強に少しでもついていけるような指導をするようにしている。
 - インターナショナルスクールへの転学や転入は経済的に難しい。
- ・ 本当に障害なのか、日本語でのコミュニケーションの困難さから来る問題行動なのかははっきりしない。
 - 手帳が発行されると、いろいろな手当や保護が受けられるということで、保護者も簡単に診断を受け入れている可能性もある。

○ Fグループ

- ・ 教科指導について
 - できそうな基礎問題を確実におさえる。
 - クラスで使用しているワークを取り出し授業に持ってこさせ、答えを写してでも提出物を完成させ、平常点をとるようにする。
- ・ 進路指導について
 - 3年生は時間が限られているので、希望の進路が固まったらすぐにその対策を行う。丸暗記でも作文を書けるように指導する。国語のテストは捨ててでも、点数が取れそうな数学を強化する。
 - 近隣の夜間定時制高校が今回より学力試験を導入してしまう。定時制の過去問を何度も解き、対策をしたい。
- ・ 母語の確率の重要性について
 - 母国で小学校教育を終えてきた生徒やブラジル人学校からの編入生は母語が確立している分、認知力があり、日本での勉強にも早く追いつくことができる。早くに来日した子どもの方が言語がどっちつかずになり、勉強についていくことができないことが多い。



11月

国際交流 岩倉中学校 コスモス祭 達人道場「ブラジルの文化にふれよう」

- 1 日時 11月11日（金）
- 2 参加者 生徒 30名
- 3 講座内容
 - ・カポエイラの歴史について
 - ・実技指導
 - ・楽器について

『生徒の感想』

動きが激しいので、最初はできないだろうとおもったが、やさしく教えてもらってとても楽しく行うことができた。

独特のリズムや動きだったので合わせるのが大変だったが、合わせられるようになると楽しかった。

ブラジルの楽器についても知ることができてよかった。

これからは視野を広げていろいろな国の文化に触れたいと思った。

**11月**

学芸会 岩倉東小学校

劇の台詞にポルトガル語を交えたり、ブラジルやトルコの楽曲を流すなど、全校生徒の過半数が外国にルーツのある児童である学校ならではの学芸会となりました。日本人児童に負けず劣らず、多くの外国にルーツのある児童が活躍することができました。

**12月**

日本語能力試験 後期 10名受験

- ・ N1 合格者－ 1名(受験者 6名中)
- ・ N2 合格者－ 1名(受験者 2名中)
- ・ N5 合格者－ 2名(受験者 2名中)

※ 10名の受験者中・・・合格4名，不合格 6名

**12月**

保育園・幼稚園 視察

1 目的

次年度，入学予定園児についての情報交換を行うとともに，プレスクール対象園児の指導にいかす。

2 視察日程

- ・ 曾野幼稚園 12月6日（火）
- ・ 岩倉幼稚園 12月7日（水）
- ・ 仙奈保育園 12月13日（火）
- ・ 東部保育園 12月14日（水）



12月**外国人の親の会**

- 1 日 時： 12月16日(金) 19:00～20:15
- 2 会 場： 岩倉市立南部中学校 研究室
- 3 参加者： 3名の生徒の母親
- 4 内 容
 - ・ 小学校と中学校の違いについて
 - ・ 進学について
 - ・ 学校への要望
 - ・ 翻訳文書，ホームページについて

**12月****国際理解集会 五条川小学校****外国にルーツをもつ児童の保護者による絵本の読み聞かせ**

- 1 日 時 12月19日 (月)
- 2 会 場 五条川小学校 体育館
- 3 目 的 現地（フィリピン）で読まれている絵本の読み聞かせを通して，外国の言語や文化についての理解を深め，興味や関心をもたせる。また，日本語を母語としない保護者の日本語での読み聞かせを聴いて，日本人とコミュニケーションをとるために がんばっている姿を見せたい。

**『発表した児童の感想』**

- ・ フィリピンの言葉は初めて聞きました。本を読んでもらって嬉しかった。
- ・ 日本語がとても上手でした。よく分かりました。ありがとうございました。
- ・ 日本語が上手ですすごいなと思いました。楽しかったです。

12月**瀬戸市日本語指導担当者研修会 講師**

- 1 日 時： 12月26日(月) 13：30～16：20
- 2 会 場： 瀬戸市文化センター
- 3 参加者： 19名
- 4 内 容
 - ・ 講話（岩倉市の取組紹介）
 - ・ 模擬授業
 - ・ 質疑応答
 - ・ 情報交換，まとめ，講評



岩倉市の具体的な日本語・教科指導方法や外国にルーツをもつ児童生徒のための取組をスライドで紹介した。また，小学校と中学校の日本語・教科指導の指導デモを実際に使用している教材を用いて行った。

質疑応答と情報交換の時間が短く感じるほど，意見交換や情報提供が活発に行われ

た。参加された先生方や日本語サポーターの方々は、展示した岩倉市の教材を手にとって熱心にご覧になっていた。



1月

国際交流 五条川まつり

- 1 日時 1月21日（土）9:00～11:10
- 2 場所 五条川小学校 日本語教室
- 3 内容

- ・ 保護者をゲストティーチャーに迎え、ポルトガル語・フィリピン語・ルーマニア語・パシュトゥー語の会話講座を開く。時間は各15分、挨拶の言葉を中心に、伝統的なスイーツのレシピを説明、レシピを配付。
- ・ 各国のあるあるクイズを、ペットボトルを利用した空気砲で、命中したところのクイズを解く。
- ・ クイズ2問正解で、冬休みに、保護者と子どもたちが作った「動くチョウチョ」を景品として渡す。
- ・ 教室内は、各国の代表的な料理や各国の言葉を掲示した。



★ 準備の段階から子どもたちは、意欲的に頑張っていた。商業撮影では、母語を使って母国をアピールした。掲示物を作りながら、愛国心がめばえてくる子どももいた。

『感想』

- ・ パキスタンの女性が公の場で、意欲的に会話を教えてくれることはすばらしかった。画期的な企画だと思った。（日本人保護者）
- ・ スイーツのレシピがもらえることを聞いて楽しみに来ました。（日本人保護者）
- ・ 異文化が味わえてとても楽しかった。（日本人保護者）
- ・ 母語を自分の子どもにも教えることの大切さを感じた。（フィリピン女性）
- ・ ゲームが楽しかった。景品は手作りなんてすごい。（児童4年）
- ・ 友だちの国の食べ物が貼ってあっておいしそうだった。（児童1年）



1月

東っ子フレンズフェスティバル

- 1 日時 1月28日（土）
 2 会場 岩倉東小学校
 3 内容 PTA主催のお店で出すブリガデイロ作り
 （ブラジルのお菓子）

- ・ ブラジル人の保護者、職員でブリガデイロ（ブラジルのお菓子）を作りました。東っ子フレンズフェスティバルでは、参加された保護者や地域の方、子どもたちが、『とっても美味しい。』と喜んで頂くことができました。



- ・ 各クラスで、お店の内容を決め『大切にしよう おもてなしの心』のスローガンのもと、保護者や地域の方、異年齢の児童と触れ合っていました。

2月

新入児 入学説明会（一日入学時に実施）

○ 目的

- ・ 保護者並びに入学予定者に小学校の様子を知ってもらい、入学準備の参考にする。
- ・ 日本の学校に入学するにあたっての心構えをもってもらう。
- ・ 保護者と教師で協力体制を作るきっかけにする。
- ・ 日本語教室について理解してもらう。

- 1 日時 平成28年2月3日（金） 13:30 - 15:30
 会場 センター校（岩倉東小学校） 日本語教室
 2 対象 平成29年4月から岩倉市内の小学校に入学する外国人幼児の保護者
 3 内容 ① 日本の学校について
 ② 日本語・ポルトガル語適応指導教室について



2月～

プレスクール ～日本の学校に慣れるために～

1 目的

- (1) 入学後、早く学校に適應できるよう、環境に慣れ親しむ。
- (2) 学校生活に必要な基礎的事項を体験したり、学習したりする。
- (3) 新入学児の日本語力を把握する。

2 期間・日時

2月10日（金）、17日（金）、24日（金）、3月3日（金）、3月10日（金）
 15時30分～16時30分

3 場所

岩倉市立岩倉東小学校 学校生活適応指導教室

4 参加新入学児ー 10名

保護者や新入学児の希望および日本語力が十分身についていないと思われる
新入学児

5 指導者

- ・ ブラジル人講師，ボランティア

※ 日本語担当者が，必要に応じて指導を支援する。

6 事後

- (1) プレスクール期間内で到達した内容を記録し，保護者・入学予定の学校へ報告する。
- (2) 入学後の追跡調査を行い，来年度に向けて課題点を挙げる。



2月

福井県越前市教育委員会 視察

- 1 日時 2月17日(金) 13:50～16:00
- 2 場所 岩倉東小学校
- 3 視察者 越前市教育委員会 11名
- 4 内容
 - ・ 日本語指導参観
 - ・ 岩倉市の取組説明，質疑応答
 - ・ プレスクール参観



2月

瀬戸市教育委員会 視察

- 1 日時 2月24日(金) 15:30～16:00
- 2 場所 岩倉東小学校
- 3 視察者 瀬戸市教育委員会 1名
- 4 内容 プレスクール参観



3月

情報提供会 外国人児童生徒の将来を見据えた中学校生活の送り方

- 外国にルーツをもつ児童生徒の定住化に伴い，中学校生活をどのように過ごしていけばいいか，上級学校進学に向けての心構えや準備などの情報発信と意見交換会を設定。

- ◆ 日時：平成29年3月16日(木) 18:00～19:00
- ◆ 場所：南部中学校 日本語教室，南多目的室（南館2階）
- ◆ 対象：小学校6年生，中学校1年生 外国にルーツをもつ児童生徒（希望する中学校2年生も参加できます。）
外国にルーツをもつ児童生徒の保護者（小1～中2の保護者）
- ◆ 内容：
 - ① 中学校生活について
 - ② 上級学校進学について
 - ③ 進学にかかる費用

◎ 個人調査票 内容改定 (調査項目)

学年、学校名、名前、国籍、母語、性別、正式名、生年月日、ステップ、在留資格、住所、母語力、来日時期、健康状態、出席状況、宿題・準備、家族、親類、父母の国籍、会社、保険有無・種類、公的扶助、保護者日本語力、在籍までの経緯、卒業後の希望、学校行事参加、学習塾・習い事、帰宅時家族在宅状況、連絡先・連絡可能時間帯、連絡できる友だち

平成28年度 外国人児童生徒 個人調査票 ④		
学年	5	備考①
学校名	五条川小学校	日本国籍(約30年前に母親が日本人と結婚、離婚の...を未婚で出産。血のつながりのない元夫の名字をつける。
名前	ダブル	
国籍	フィリピン語	
母語	フィリピン語	
性別	男	
正式名	...	
生年月日	2003.02.17	備考②
ステップ	1	保育園の時、1年間フィリピンで過ごした。
在留資格	永住者	
住所	岩倉市...	
母語力	全くできない	
来日時期	日本生まれ	
在籍までの経緯	日本(岩倉のみ)	
卒業後の希望	高校進学	
健康状態	健康	備考③前年度分までの必要事項を残す
出席状況	良好	2017年Facebookを通じて出会う機会
宿題・準備	親の協力できる	なにもない。実父はトルコ人で、解体系を言わない。3ヶ月ごとに日本とトルコの行き来を繰り返す。その保護者に連れて来るとも頻りに会い、経済援助を母ととも受ける。義父は家庭教師。
学習塾・習い事	なし	
家族	母子一人っ子 義父	
親類	近隣にあり	

◎ マニュアルの改定 第9版

- 管理職向け お願い・確認事項
- 教務主任向け 確認事項
- 養護教諭向け 確認事項
- 学級担任 Q&A ハンドブック
- 岩倉市日本語適応指導教室マニュアル 担当者向け

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室		
校長先生・教頭先生へのお願ひ・確認事項 第9版		
目次		
日本語・ポルトガル語適応指導教室	概要	P1
日本語・ポルトガル語適応指導教室	理念	P3
日本語・ポルトガル語適応指導教室	特色	P3
日本語・ポルトガル語適応指導教室	連絡協議会・説明会	P3
日本語・ポルトガル語適応指導教室	原則	P4
日本語・ポルトガル語適応指導教室	提出書類及び作成文書	P4
日本語・ポルトガル語適応指導教室	就学方針	P5
学校生活適応指導(集中初期指導)		P6
日本語・ポルトガル語適応指導教室	公開指導	P7
日本語適応・ポルトガル語指導教室	ホームページ	P8
『日本語教育適応学校担当教員』とは?		P9
担当者 在籍校での校務分掌関係		P9
担当者 責任校での仕事		P10

◎ 外国にルーツをもつ児童生徒 追跡調査(H13～H28) 作成

平成20年度入学 30名			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
氏名	国籍	来日時期	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	
...	ブラジル	4～6才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	
...	ブラジル	4～6才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	
...	ブラジル	0～3才	東	東	一	東	東	東	東	東	東	
...	ブラジル	0～3才	東	東	一	東	東	東	東	東	東	
...	ブラジル	0～3才	五	五	五	五	五	東	東	東	東	
...	ブラジル	0～3才			イザックウツン	小牧より	東	東	東	東	東	
...	ブラジル	小4			方方より	東	東	東	東	東	東	
...	ブラジル	4～6才			方方より	南	南	東	東	東	東	
...	トルコ							大山北小	東	東	東	
...	ブラジル	0～3才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	
...	ブラジル	0～3才						名古屋廿軒小学校	東	東	東	
...	ブラジル	4～6才	曾	曾	曾	曾	曾	曾	曾	曾	曾	
...	ブラジル	日本生	五	五	五	五	五	五	五	五	五	
...	ブラジル	日本生			山北小	五	五	五	五	五	五	
...	フィリピン	小4						大山北小	北	北	北	
...	ブラジル	小5						方方より	南	南	南	
...	ブラジル	小5						方方より	南	南	南	
...	ブラジル	小6						方方より	南	南	南	
...	ブラジル	小5						方方より	南	南	南	
...	ブラジル	0～3才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	
...	ブラジル	日本生	東	東	東	東	東	東	東	東	東	
...	ブラジル	小5						方方より	南	南	南	

◎ 日本語・教科テストの改定

※ 改定に合わせて、評価方法や集計一覧表の見直しを図る。

○ 指導区分・ステップ(個々の日本語習熟度の段階)の見直し

- ステップ0(S0) —— 学校生活適応指導ー集中指導
- ステップ1(S1) —— 初期 (聞く)
- ステップ2(S2) —— 初級 (話す)
- ステップ3(S3) —— 中級 (読む)
- ステップ4(S4) —— 上級 (書く)

※ ステップ2～4(S2-①～S4)ー 日本語能力試験指導

3学期 日本語・教科 ステップ別指導計画表			
指導区分	ステップ	指導内容	評価方法
ステップ0	0	学校生活適応指導	観察・面接
ステップ1	1	初級 (聞く)	聴き取りテスト
ステップ2	2	初級 (話す)	話し合いテスト
ステップ3	3	中級 (読む)	読解テスト
ステップ4	4	上級 (書く)	作文テスト

◎ 指導カリキュラム（指導項目・指導内容）

教育の目的，教育内容を超えて，教授活動やそれに対する教師の構えのようなものにまで拡大して，教育にアプローチする姿勢そのものまでもカリキュラムとして捉えなおす

◎ 日本語テキスト 指導教材

※ 評価の姿勢を含んだ類型（入出力モデル）
具体的に観察できる教育目標を設定しておいて，それに対応する教材，教具を開発，それを【指導＝学習】の過程で活用

にぎる おと



◎ 日本語・教科テスト

【指導＝学習】の結果を日本語的な内容と教科的な内容に分けたテストを作成し，個々の到達度を評価する。

Evaluación de la capacidad del idioma japonés los estudios
日本語・教科 到達度評価 ～担任の先生へ～

○○学校 小5 学年 成績

3学期

項目	得点	到達度
ものの名前	57.5	○
漢字	49.0	△
国語（日本語）	48.0	○
日本語能力試験	65.4	○

日本語 評価	平均	ステップ
国語（日本語）	55.4	Step 2

国語（日本語）	得点	到達度
国語（日本語）	58.1	○
国語（日本語）	44.3	△
国語（日本語）	60.1	○
国語（日本語）	51.2	○
国語（日本語）	57.7	○
国語（日本語）	52.5	△
国語（日本語）	49.6	△

教科 評価	平均	ステップ
国語（日本語）	50.8	Step 2

日本語・教科 評価	平均	ステップ
国語（日本語）	53.0	Step 2

項目	得点	到達度	備考
Step4	71-100	Step 3	国語（日本語）
Step3	56-70	Step 2	国語（日本語）
Step2	41-55	Step 1	国語（日本語）
Step1	11-40	Step 0	国語（日本語）
Step0	0-10	Step 0	国語（日本語）

◎ 個人課題

日本語・教科テストの結果より，現状の日本語・教科の到達度を把握するとともに，個人課題を明確にし，指導スタイル・教材・教具・テストの見直しを図る。

【個人別指導カリキュラム】

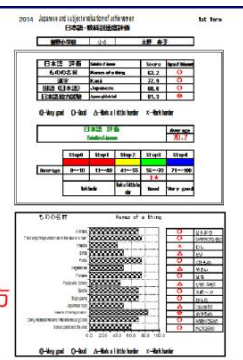
評価

5言語対応

ポルトガル語 中国語
スペイン語 英語
フィリピン語

グラフ・色分け

保護者にわかる伝え方



◎ 指導ユニット・モジュール

● 岩倉日本語指導方式

年間 指導ユニット 配当計画 ステップ・学年・月別

リサイクル(学期ごとにステップの見直し)	ステップ1(S1)	ステップ2(S2)	ステップ3(S3)	ステップ4(S4)
1学期	4月(3週) 5月(4週) 6月(4週) 7月(2週)	10月(3週) 11月(4週) 12月(3週)	1月(3週) 2月(4週) 3月(2週)	4月(3週) 5月(4週) 6月(4週) 7月(2週)
2学期	9月(3週) 10月(4週) 11月(4週) 12月(3週)	1月(3週) 2月(4週) 3月(2週)	4月(3週) 5月(4週) 6月(4週) 7月(2週)	10月(3週) 11月(4週) 12月(3週)
3学期	1月(3週) 2月(4週) 3月(2週)	4月(3週) 5月(4週) 6月(4週) 7月(2週)	10月(3週) 11月(4週) 12月(3週)	1月(3週) 2月(4週) 3月(2週)

1 指導ユニットの指導モジュール配分は，日本語力のステップに応じて比率を決める。
現在の日本語力レベルと現在の学年の学習内容，1 指導ユニット・モジュール配分比率は，概ね下記のようになる。

ステップ	1	2	3	4
[S1]	10	3	0	0
[S2]	7	3	19	0
[S3]	5	5	9	18
[S4]	2	8	2	7

【ステップ3】【小3・小4】4月・5月・9月・12月・1月ー9 指導ユニット(36モジュール)

指導ユニット①	指導ユニット②	指導ユニット③	指導ユニット④	指導ユニット⑤	指導ユニット⑥
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）

指導ユニット⑦	指導ユニット⑧	指導ユニット⑨	指導ユニット⑩	指導ユニット⑪	指導ユニット⑫
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）

【ステップ3】【小3・小4】7月・3月ー6 指導ユニット(24モジュール)

指導ユニット⑬	指導ユニット⑭	指導ユニット⑮	指導ユニット⑯	指導ユニット⑰	指導ユニット⑱
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）

【ステップ3】【小3・小4】6月・10月・11月・2月ー12 指導ユニット(48モジュール)

指導ユニット⑲	指導ユニット⑳	指導ユニット㉑	指導ユニット㉒	指導ユニット㉓	指導ユニット㉔
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）

【ステップ3】【小3・小4】12月・1月・2月ー3 指導ユニット(12モジュール)

指導ユニット㉕	指導ユニット㉖	指導ユニット㉗	指導ユニット㉘	指導ユニット㉙	指導ユニット㉚
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）

【ステップ3】【小3・小4】3月・4月ー5 指導ユニット(10モジュール)

指導ユニット㉛	指導ユニット㉜	指導ユニット㉝	指導ユニット㉞	指導ユニット㉟	指導ユニット㊱
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）
国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）	国語（日本語）

- 学年・教科・月・ステップ別 指導教材・画像ファイルの整理
- 日本語・教科テストの整備
 - ・ 漢字テスト, 教科用語・学習用具テスト, 語彙テスト, 国語(日本語)テスト, 算数(数学)テスト, 日本語能力テスト
- ◎ 教材
 - ・ 新規作成・編集, 教材作成用画像の整理
- ◎ 翻訳文書 新規作成および修正
- ◎ 保護者への発信 学校から保護者の方への情報発信の充実
 - ホームページ Homepage
<http://www.iwakura.ed.jp/nihongo/E29.htm>
 学校行事予定をスマートフォンやタブレットからも閲覧できるように。
 - 外国人保護者向けメール
 - ・ iwakura-japaneseメールより, 保護者へ学校行事や緊急メールを発信
- ◎ 通訳配置
 - ポルトガル語・スペイン語・中国語・フィリピン語通訳の配置
 - ・ 保護者会, 就学時検診, 1日入学, 他随時
- ◎ 担当者会・研修会（詳細は、別紙一担当者会記録を参照）

※ 担当者会で話し合ったことは、在籍校の校長先生・教務主任に報告。
教育委員会へは、室長から報告。

- 担当者会の進行
 - ① 各担当者からの報告・課題（責任校・巡回校・初期指導）
 - ② 各担当者からの報告（研究内容・開発教材など）
 - ③ 共通理解を図るべき事項の検討
 - ④ 担当者会 会場校 校長先生からの御指導
- 各担当者は、それぞれの役割分担に従って、下記の内容を行う。
 - ① 教材・テスト作成
 - ② 指導法・指導内容の研究
 - ③ 児童生徒の日本語力状況確認及び指導時間割の見直し
 - ④ 翻訳文書作成

※ ブラジル人講師は、随時、話し合いに参加し、翻訳文書の作成をする。
★ 個人レベルの研究も各自、自主的に進めていく。

- ・ 担当者会 毎週 火曜日実施 ・ 研修会 毎週 水曜日実施

◎ 視察・講師依頼 問い合わせ 平成28年度

○ 稲沢市教育委員会	稲沢市日本語指導者研修会 講師依頼
○ 外務省領事局外国人課 課長他2名	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の取組 視察
○ 江南市市議会議員・教育委員会 3名	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の取組 視察
○ 島根県出雲市教育委員会	出雲市日本語指導者講習会 講師依頼
○ 岩倉市日本語適応指導教室 夏休み 情報交換・交流会 7月22日(金) 参加者 67名	
○ 瀬戸市教育委員会 2名	日本語担当者研修会 講師依頼
○ 豊明市教育委員会	豊明市日本語指導者研修会 講師依頼
○ 神奈川大学 1名	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の取組・母語指導 視察
○ 岐阜県可児市小中学校 5名	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の取組 視察
○ 福井越前市教育委員会 2名	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の取組 公開研修会 視察
○ 東京福祉大学 1名	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の取組 視察
○ 文部科学省	「次世代の学校」指導体制の充実のための有識者ヒアリング 発表依頼
○ 岩倉市日本語適応指導教室 公開指導 11月4日(金) 参加者 95名	
○ 福井県越前市教育委員会 11名	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の取組・プレスクール 視察
○ 瀬戸市教育委員会 1名	プレスクール 視察

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 指針

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室創設より16年目を迎えた。当初、4カ国4言語、26名で開始した岩倉市・日本語ポルトガル語適応指導教室であるが、現在、岩倉市内の小中学校には、15カ国11言語、230名程の外国にルーツをもつ児童生徒が在籍し、そのうち約80パーセントを日系人が占めている。

人と人とのコミュニケーションを図るための意思伝達手段として、言葉は重要である。外国にルーツをもつ児童生徒の多くは、日本語を母語としないため、自分の気持ちを先生や友達に伝える時の表現力が劣り、意思疎通がうまく図れない場合がある。そんな外国にルーツをもつ児童生徒に対して、語彙量を増やし、時と場に応じた言葉の使い方を指導することで、円滑にコミュニケーションを図れるようになり、日本の生活に適応することができるようになる。

また、生まれた国や言葉の違いだけでなく、生まれ育った環境により文化や生活習慣、考え方は異なる。戸惑いや不安の中、外国にルーツをもつ児童生徒たちは、日々、ストレスを抱え、肌で文化の違いを感じている。反面、外国にルーツをもつ児童生徒の日本語習得が進むにつれ、母語を忘れ、親と母語でのコミュニケーションをとることが困難になっていくという問題も発生している。両親ともに朝早くから夜遅くまで働いていることが多く、親と話す時間が極端に少ないため、その傾向はより強くなっている。

一見、学校生活に適応し、楽しく過ごしているように感じる外国にルーツをもつ児童生徒でも、学校でしか使わない学習用具の名前や教科書に出てくる言葉など聞き慣れない言葉が理解できずに戸惑うことが多い。このように、日本の学校生活に適応できない、教科書学習が理解できないうえに、家庭では保護者の日本語力が低いため、支援を得ることができず、生涯、ハンディキャップを背負っていくことになる。

さらに、中学校を卒業した後の進学・就職の問題など、外国にルーツをもつ児童生徒は多くの問題を抱えている。学校で他者から認められ、誉められ、日本語を覚え、日本での思い出を作れば良いという時代ではなくなった。彼らの学びを保障し、彼らの将来への礎と日本の将来を担う一員として教育していかなければならない。このような外国にルーツをもつ児童生徒を取り巻く環境を考慮し、将来の夢や目標をもって日本で生活していけるよう、日本の学校や日常生活に適応できるように指導していく必要がある。

そこで、常日ごろから、指導をしていく中で児童生徒に言い続けていることがある。

ここでの学習は、定住するにしろ、母国に帰るにしろ、必ず自分の力となり、その力は自分の夢の実現に近付ける手助けとなるものであるということである。

日本に来たばかりで、言葉もわからず、自分の気持ちを表現することができない状態で生活していくことは、とても苦痛を感じる。そんな中で、前向きに日本語を学ぼうとする姿勢は、周りの日本人児童生徒にもプラスの影響を与えるものであると思う。そのような外国にルーツをもつ児童生徒たちの努力は、尊敬に値するものである。

また、日本人の児童生徒にとっても、様々な国の子どもたちと生活していくことは、国際理解の第一歩であり、他者への思いやりの心を持ち、人の立場でものを考えられるようになることにつながるのである。国際理解とは、自己を知り、他を認めることである。自分の国、地域の自然や社会、学級や家庭を自分自身とのかかわりの中で、学び、知り、理解すること。また、他の地域や国に住む人々について知り、文化、習慣の違いを互いに認めあうこと。すなわち、相手の立場が理解できる

ということである。外国にルーツをもつ児童生徒が、日本の文化・習慣に慣れることは、もちろん大切なことであるが、できる範囲でこちらからも相手の国の文化・習慣を理解し、お互いに歩み寄ることも必要であると思う。日本人児童生徒と同様に外国人児童生徒も、認められ、誉められることで、自己の存在感を感じることができるのである。そこで、『心の居場所』づくりをするとともに、『授業で活躍できる学力』を付けることが大切であり、縁あって、出会った外国にルーツをもつ児童生徒が、日本にいてよかったと感じるような指導を心掛けている。

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

